

平成24年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エスプール  
 コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 浦上 壮平  
 (氏名) 佐藤 英朗

TEL 03-3517-6633

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第3四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第3四半期	3,722	△13.9	29	61.9	20	231.2	5	△87.7
23年11月期第3四半期	4,324	5.5	18	—	6	—	46	—

(注)包括利益 24年11月期第3四半期 5百万円 (△87.7%) 23年11月期第3四半期 46百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第3四半期	220.20	—
23年11月期第3四半期	1,797.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年11月期第3四半期	1,106	179	16.2
23年11月期	1,100	173	15.8

(参考)自己資本 24年11月期第3四半期 179百万円 23年11月期 173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年11月期	—	0.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△6.0	90	177.7	80	351.8	62	△69.8	2,425.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年11月期3Q	25,834 株	23年11月期	25,834 株
24年11月期3Q	— 株	23年11月期	— 株
24年11月期3Q	25,834 株	23年11月期3Q	25,834 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、復興需要の本格化、公共投資やエコカー補助金等により内需については緩やかな回復傾向が見られますが、欧州の債務危機継続によるユーロ圏経済の低迷や、円高の長期化、中国やインドを中心とする新興国景気の下振れ懸念等、先行き不透明な状況が続いております。一方、雇用情勢については、国内景気の緩やかな回復を背景に改善傾向にありますが、失業率については依然高水準で推移しており、一進一退の状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは、当期の事業方針に従って、人材派遣サービスの積極的拡大のための準備、アウトソーシングサービスの体制整備、そして新規サービスの展開を推し進めて参りました。収益面では、前連結会計年度に売却したシステム事業及びパフォーマンス・コンサルティング事業の影響により減収となったものの、人材派遣サービスを中心とする主力の人材ソリューション事業の売上増加と売上総利益率の改善により増益を確保しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,722,907千円（前年同四半期比13.9%減）、営業利益は29,974千円（前年同四半期比61.9%増）、経常利益は20,160千円（前年同四半期比231.2%増）となりました。また、前第3四半期連結累計期間においては特別利益に計上した関係会社株式売却益の影響がありましたが、当第3四半期連結累計期間においては特別な事象はありませんでした。その結果、四半期純利益は5,688千円（前年同四半期比87.7%減）となりました。

#### 平成24年11月期 第3四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成23年11月期 第3四半期	平成24年11月期 第3四半期	増減率
売上高	4,324,902	3,722,907	△13.9%
営業損益	18,508	29,974	61.9%
経常損益	6,087	20,160	231.2%
四半期純損益	46,424	5,688	△87.7%

当第3四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

#### ①ビジネスソリューション事業

主に、株式会社エスプールにてロジスティクスアウトソーシング、キャンペーンアウトソーシング等のサービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、ロジスティクスアウトソーシングの体制整備、障がい者雇用支援サービス及び顧問派遣サービスといった新規サービスの収益化に注力して参りました。しかし、キャンペーンアウトソーシングにおいて大型案件がなく、売上については伸び悩みました。一方、損益面においては、主力のロジスティクスアウトソーシングサービスの売上総利益率が生産性の向上により改善したほか、障がい者雇用支援サービスにおいて収益改善が見られましたが、売上減少の影響が大きく減益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,277,315千円（前年同四半期比14.9%減）、営業利益は80,434千円（前年同四半期比8.6%減）となりました。

#### ②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、地方におけるコールセンター業務及びクレジットカードの会員獲得業務が好調に推移しました。また、損益面においては、将来の業務拡大に備え、営業及び管理人員の採用を積極的に進めたほか、受注案件の増加に伴い登録スタッフ募集費を増加させており、販売費及び一般管理費が増加しました。しかし、売上の増加及び売上総利益率の改善により、これらの費用増をまかない、増益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,526,116千円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益は221,743千円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

平成24年11月期 第3四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高 (単位: 千円)	平成23年11月期 第3四半期	平成24年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	4,522,211	3,803,431	△15.9%
ビジネスソリューション事業	1,501,717	1,277,315	△14.9%
人材ソリューション事業	2,339,052	2,526,116	8.0%
システム事業	621,628	—	△100.0%
パフォーマンス・コンサルティング事業	59,813	—	△100.0%
その他	13,406	8,287	△38.2%
調整額	△210,715	△88,811	—%
合計	4,324,902	3,722,907	△13.9%

営業利益 (単位: 千円)	平成23年11月期 第3四半期	平成24年11月期 第3四半期	増減率
報告セグメント	280,235	302,177	7.8%
ビジネスソリューション事業	88,018	80,434	△8.6%
人材ソリューション事業	205,891	221,743	7.7%
システム事業	14,048	—	△100.0%
パフォーマンス・コンサルティング事業	△27,722	—	—%
その他	△10,062	△3,086	—%
調整額	△251,664	△269,116	—%
合計	18,508	29,974	61.9%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から6,755千円増加(0.6%増)し、1,106,816千円となりました。当第3四半期連結累計期間においては、売掛金の増加等により流動資産が16,297千円増加しましたが、一方で定期性預金の振り替え、減価償却等により固定資産が9,542千円減少しております。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末から583千円増加(0.1%増)し、927,307千円となりました。当第3四半期連結累計期間においては、人材ソリューション事業の事業拡大に伴う必要運転資金確保のため、有利子負債を大幅に増加させております。その結果、短期借入金が27,000千円、1年内返済予定の長期借入金が33,336千円、長期借入金が55,552千円、それぞれ前連結会計年度末から増加しております。一方、納税や賞与支給により、未払法人税等が29,613千円、未払消費税等が13,517千円、未払費用が27,381千円、それぞれ減少しました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から6,171千円増加(3.6%増)し、179,509千円となりました。これは、主に四半期純利益5,688千円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

人材派遣サービス、ロジスティクスアウトソーシングといった主力サービスは概ね計画通りに推移しております。なお、当社グループが行う人材派遣サービスに適用のある労働者派遣法改正が平成24年10月1日に施行されておりますが、現時点では当社グループを取り巻く環境に大きな変化はなく、期初の事業方針を粛々と実行して参ります。従いまして、平成24年1月12日に発表いたしました平成24年11月期の連結業績予想について、変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）追加情報

#### ①「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

#### ②「連結納税制度」の適用

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	448,997	442,192
受取手形及び売掛金	466,468	492,428
商品	9,507	8,121
仕掛品	1,247	2,439
その他	71,682	77,725
貸倒引当金	△6,128	△14,835
流動資産合計	991,775	1,008,072
固定資産		
有形固定資産	27,027	26,906
無形固定資産	8,612	6,083
投資その他の資産		
その他	79,938	77,039
貸倒引当金	△7,291	△11,286
投資その他の資産合計	72,646	65,753
固定資産合計	108,286	98,743
資産合計	1,100,061	1,106,816
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	58,300	46,039
短期借入金	390,000	417,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	—	33,336
未払法人税等	38,018	8,405
未払費用	181,221	153,840
賞与引当金	13,882	19,604
その他	145,299	113,529
流動負債合計	866,723	831,755
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	—	55,552
固定負債合計	60,000	95,552
負債合計	926,723	927,307
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	150,000	150,000
利益剰余金	23,337	29,026
株主資本合計	173,337	179,026
新株予約権	—	482
純資産合計	173,337	179,509
負債純資産合計	1,100,061	1,106,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
売上高	4,324,902	3,722,907
売上原価	3,378,363	2,849,615
売上総利益	946,538	873,292
販売費及び一般管理費	928,030	843,318
営業利益	18,508	29,974
営業外収益		
受取利息	93	171
持分法による投資利益	334	373
法人税等還付加算金	934	—
その他	132	62
営業外収益合計	1,495	608
営業外費用		
支払利息	11,423	8,366
社債利息	1,968	1,355
その他	524	700
営業外費用合計	13,916	10,422
経常利益	6,087	20,160
特別利益		
関係会社株式売却益	43,060	—
保険解約返戻金	7,296	—
特別利益合計	50,356	—
特別損失		
固定資産除却損	5,951	2,350
特別損失合計	5,951	2,350
税金等調整前四半期純利益	50,492	17,810
法人税、住民税及び事業税	17,154	11,287
法人税等調整額	△12,869	834
法人税等合計	4,285	12,121
少数株主損益調整前四半期純利益	46,207	5,688
少数株主損失(△)	△216	—
四半期純利益	46,424	5,688



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	46,207	5,688
四半期包括利益	46,207	5,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,424	5,688
少数株主に係る四半期包括利益	△216	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				計	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	システム事業	パフォーマンス・コンサルティング事業				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,468,979	2,175,992	607,250	59,723	4,311,945	12,956	—	4,324,902
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	32,737	163,059	14,378	90	210,265	450	△210,715	—
計	1,501,717	2,339,052	621,628	59,813	4,522,211	13,406	△210,715	4,324,902
セグメント利益又は損失(△)	88,018	205,891	14,048	△27,722	280,235	△10,062	△251,664	18,508

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル・マーケティング事業であります。

2. セグメント利益の調整額△251,664千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△251,521千円及びセグメント間取引消去△143千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			計	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額 (注) 3
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業					
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,260,751	2,453,869	3,714,620	8,287	—	—	3,722,907
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16,564	72,246	88,811	—	△88,811	—	—
計	1,277,315	2,526,116	3,803,431	8,287	△88,811	—	3,722,907
セグメント利益又は損失(△)	80,434	221,743	302,177	△3,086	△269,116	—	29,974

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル・マーケティング事業であります。

2. セグメント利益の調整額△269,116千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△269,708千円及びセグメント間取引消去592千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前連結会計年度にてパフォーマンス・コンサルティング事業を行っていた株式会社エスプール総合研究所の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これにより同事業セグメントを廃止しております。

5. 前連結会計年度にてシステム事業を行っていた株式会社GIMの全株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。これにより同事業セグメントを廃止しております。